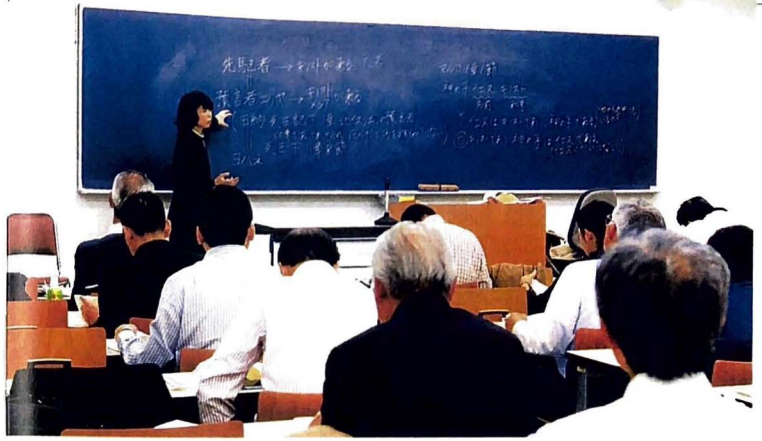
学
Manabi Report

入学資格は50歳以上。第二の人生をデザインするための学びの場。

立教セカンドステージ大学

「学び直し」と「再チャレンジ」のサポートを目的とし、'08年4月に開設された「立教セカンドステージ大学」。その専門的なカリキュラムと多面的に提供される学びの環境は、新たな生涯学習スタイルとして注目を集めています。



真剣に授業を受ける受講生。現役の大学生の場合、後ろの席からだが、セカンドステージ大学の受講生は、前から席が埋まっていくという。

セカンドステージ大学の設立に尽力した笠原清志教授。自らも講義やゼミを担当。

入学式は立教大学池袋キャンパス内のチャペルで。正式な入学式だけに、家族連れで参加する受講生も多かったそう。

第二の人生をいかに生きるか？その答え探しをサポートする理想の環境

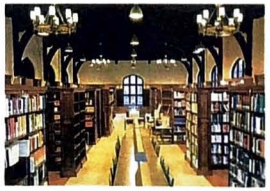
生涯学習と言えば、既存の講座の中から好きな科目を選んで受講する、カルチャースクールのようなスタイルが主流です。ところが「立教セカンドステージ大学」では、50歳以上の人が定年後の第二の人生を自らデザインするための独自の講義を用意。学んだ内容を総括するためのゼミナールも用意され、大学の卒論に当たる修了報告書の作成まで行うところが異なります。

履修は1年間。正式に認可された大学ではないものの、修了時には文部科学省認定の履修証明書が受け取れ、希望すれば専攻科に進学する制度もあるなど、システムは既存の大学に似たスタイル。講義には立教大学の学部や大学院の教授陣に、評論家の立花隆氏をはじめとする著名人も加わるなど、専門的かつ魅力的な内容です。

「キャリアを積んできたビジネスマンにとって、カルチャーセンターや公開講座では物足りない。また仕事中心に生きてきた人ほど、定年後のライフスタイルを思い描けていない人が多いものです。そこに着目して、本格的に学びたいという欲求に応えながら、第二の人生と向き合える学びの場を考えました」と立教大学副総長の笠原清志教授。

大学が提供する質の高い授業内容と、新しい学習スタイルが話題を集め、初年度は約1000人から資料請求があり、70人の定員に対して170人の応募があるなど、予想以上の反響があったそうです。入学者96人の平均年齢は60歳。元の職業も実にさまざまで、うち4分の1を現役の会社員が占めます。

『歴史と文化の探求』を担当する松平定知教授（写真上）。立花隆教授（写真左・左）の『現代史の中の自分史』や、北山晴一教授（同右）の『現代世界論』も人気がある。



セカンドステージ大学の受講生専用のラウンジ（写真上）。パソコンやコピー機が用意され、受講生の集合場所となっている。蔵書175万冊を誇る図書館（写真左）も自由に利用することができる。

キャンパスライフを謳歌しつつ、新たなネットワークづくりも

受講生は「セカンドステージ大学生」の受講生証を持ち、図書館や食堂などの大学内施設を自由に利用可能。受講生のために用意された専用のラウンジでは、授業の合間に他の受講生との交流を深められます。

懇親会やアルバム作成といった学内行事に関わる委員会活動やゼミナールなど、受講生同士がコミュニケーションする機会が多く、まるで学生時代に戻ったかのようなキャンパスライフに、「楽しくて卒業したくない」という受講生も多いと言います。

そんな要望に応えて、大学サイドでは修了後も大学をプラットフォームに、ボランティアや生涯学習に関わっていけるシステムを検討中だとか。

立教セカンドステージ大学の'09年度の募集は1月から始まります。選考は書類審査と面接によって行われます。勇気を出して飛び込んでみることで、これからの人生と向き合い、社会のひとりとしていかに生きるかの答えを見つけるきっかけになるかもしれません。

Students Interview

授業も面白く、受講生との会話も楽しい

●伊藤清美さん（写真右）51歳　主婦

同じ授業を学ぶことで、複数の人と意見交換できるのが面白いですね。たとえばアジアの貧困問題を学んだ時は、何か自分たちにできることはないかと、さまざまな意見を出し合いました。みなさん考え方が違うので、刺激や影響を受けますね。娘も大学生なので、共通の話題ができて会話が増えました。

大学での新しい出会いが私の財産です

●角川則光さん（写真左）55歳　会社員

世代や職歴など、実にさまざまな受講生がいるので、諸先輩方と付き合いながら、知識や経験など、いろいろなことを教えてもらっています。社会人になると真の友達ができつらいので、この大学で利害関係のない人脈ができたことが財産ですね。これからの人生でプラスになってくると思います。

Curriculum ●カリキュラム●

カリキュラムは、3種の科目群とゼミナールの4つで構成。前期・後期それぞれ講義1科目と通年のゼミナール1科目が必修となり、ゼミナールでは修了報告書を作成する。ほかに選択科目を5科目以上修得すると修了となる。現役大学生向けに開講している授業（※）も2科目まで履修可能。

立教セカンドステージ大学

●出願資格：2009年4月1日現在満50歳以上の男女で、高等学校を卒業またはこれに準じた学力のある方
●選考方法：書類審査及び面接試験（選考料1万円）
●学費：登録料8万円、受講料25万円
●募集人員：本科（1年）定員70名
●募集時期：2009年1月7日～1月21日（2009年2月17日または18日に面接試験）
※詳しくはお問い合わせください。

立教セカンドステージ大学事務室
〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
TEL.03-3985-4672　FAX.03-5960-6460
E-Mail／rssc@grp.rikkyo.ne.jp
URL／http://www.rikkyo.ac.jp/